

「自民党のグローバル化政策は周回遅れの失敗だと思いますが？」

平成 28 年 8 月 9 日

●田中一郎さんからの質問

自民党のあらゆる政策を見ていると「グローバル化はこの世の真理」だと決めつけているようにしか見えません。世界情勢を見ていると実際にはグローバル化は失敗でありその反省が今行われていますが、時代に追いつくどころか他の国の失敗を周回遅れで行おうとしているようにしか見えません。西田さんはどうお考えですか？

●西田昌司の答え

全く同感です。

政治の目的は、日本人としてのアイデンティティーを大切に、日本の国の伝統・文化をしっかりと守り抜くことです。国民一人ひとりの人生を守るために、その手段としてある程度のグローバル化もやむを得ないとは思いますが、グローバル化はあくまでも手段であって目的ではありません。しかし、今の政治を見ているとグローバル化が目的であるかのように履き違えているように感じられますし、その結果、ものが見えなくなっているのだと思います。

●田中反蔵さんからの質問

政府が 28 兆円の経済政策を打つとのことについて質問です。28 兆円と聞くと大規模でやるんだな、と思いましたが、よく見ると政府支出の真水の部

分は6兆円くらいですよ。しかも今年度だけでみればたったの4兆円弱くらいですよ。あれだけサミットで財政出動と言っていたのにこの程度で残念な気がします。先生は今回の経済対策は率直にどのように評価されますか？

●西田昌司の答え

全く同感です。

自党内の私をはじめとする財政出動派は、真水は最低でも10兆円は必要だと訴えてきましたし、総理にもそのように提言してきましたが、残念ながら今回の経済対策はそのようにはなっておりません。足りない分は第三次補正予算を組んでも建設国債をしっかりと発行し、総需要不足というデフレ現象を解決するために政府が必要創出をしなければなりません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>